

第 54 回(平成 29 年 2 月度)スタディグループ分科会結果報告

運営委員長 荒木 道雄
(文責 : 小野 信)

1. 開催日時 2017 年 2 月 7 日(火) 午後 2 時 30 分～午後 5 時
2. 開催場所 文京区民センター 5 階 区民会議室 A
3. テーマ 期中監査の方法、監査調書の作成と工夫(WG⑬)
4. 発表者 日本電産トーソク(株) 常勤監査役 米山辰三
シリコンテクノロジー(株) 常勤監査役 芦田昇
王子タック(株) 常勤監査役 荒木道雄
5. 出席者 32 名
6. 配布資料 「(研究テーマ)期中監査の方法、監査調書の作成と工夫」(レジュメ)

7. 議事次第

1) 運営委員長より開会の挨拶

荒木運営委員長よりの開会の挨拶に続き、本日の初参加者、開発電子技術(株)監査役小川重光氏より自己紹介があった。

2) ワーキンググループよりの説明

- ・当ワーキンググループのリーダーである荒木氏より、発表者の紹介及び本日の発表の次第につき説明があった。次に、本題に移り、荒木氏より、本テーマを選んだ理由及び具体的な調査、聴取の方法等について説明があった。その後、具体例として選んだ 6 社の内 3 社について、発表者より資料に沿って説明された(前半部 45 分)。
- ・10 分間の休憩を挟み、残り 3 社につき、資料をもとに説明された。最後に、発表者より今回の研究調査を終え、それぞれ所感を述べられた(45 分)。

3) 質疑応答

出席者より、資料にあげられた会社について、「内部監査部と監査役の連携」、「(参考として添付された)各社のチェックリストの内容」、「親会社の監査役か子会社の監査役かの立場の違いに関するもの」等、の質問があり、発表者から分かる範囲での回答があり、その他出席者からも種々意見が出された(約 50 分)。

4) 委員長より閉会の挨拶

荒木運営委員長より、発表者に感謝の意を表された。また、今後 2～3 月に開催予定のスタディグループ分科会、独立委員会セミナーについて案内があり、17 時 00 分に閉会となった。

*次回のスタディグループ分科会は、2 月 22 日「SS コード及び CG コード・フォローアップ会議と各社の対応状況」、3 月 22 日「企業不祥事と第三者委員会」、独立委員会セミナーは、3 月 31 日「監査等委員会設置会社検討会のその後のフォローアップ」の予定です。

以上